

平成23年10月

第99号

スクランブル

編集委員：青少年対策大井第二地区委員会
山中小学校PTA・大井第一小学校PTA
伊藤学園PTA・伊藤中学校OG

編集・発行：大井第二地区スクランブル編集委員会
品川区大井2-27-20 大井第二地域センター内
TEL(3772)2000 FAX(5709)7627
URL: <http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007700/hpg000007613.htm>

イチ押し!学校ガーデンめぐり

秋の気配が感じられるようになりました。厳しい暑さだった夏。
私たちを和ませ、リフレッシュさせてくれたのは、緑のガーデンでした。
今回は、大井第二地区内3校のご自慢ガーデンをご紹介します!! (取材：7月末)

伊藤学園は屋上にベジタブルガーデンがあります。
今年創設された園芸部と顧問の先生を中心に色々な野菜を作っています。取材をした時には、トマト、かぼちゃ、トウモロコシ等10数種類の野菜や果物が栽培されていました。



ゴーヤ

伊藤学園



校舎3階のベランダのウッドデッキには、プランターを並べてゴーヤのエコで涼しいグリーンカーテンを栽培中です。強い日差しから子ども達を守ってくれる強い味方となるのでしょうか? また、たくさんのゴーヤができるか、とても楽しみです。乞うご期待。



かぼちゃ



トウモロコシ

大井第一小学校

正門をくぐり、右手に大正時代のへいの一部があります。その横の「ひみつの小道」(ご存知ですか? レンガの小道です!)を通ると、うめ、くるみ、びわ、ざくろ、いちょうなどがあります。現在は、くるみとざくろの実がなっています。他には、ぶどう、パナナ、みかん、キウイ、桜、あじさい、紅葉などが学校内にあり、四季折々一年を通して目と心を癒してくれます。

涼を感じる
スポットあり!
小魚が
いました!



ビオトープ



ビオトープとは、生物空間、生物生息空間とされますが、学校では人為的に再生された自然生態系の観察モデルのことを指します。観察園ですね!

今は、うめの実のように
緑色なんですよ!



くるみ



ざくろ

ぶどう発見!
校庭南門近くです!



屋上では野菜畑



作業の様子

蝶の道・南先生と(第2校庭)→

緑っぱいの第2校庭

校舎と道路を挟んである第2校庭ではひょうたんを作っており、毎朝副校長先生が水やりをしています。



山中小学校

世界中の子ども達と気持ちを繋げよう



国際生物多様性の日(5月22日)に合わせて世界各地の青少年の手でそれぞれの学校の敷地などに植物の苗を植える運動「グリーンウェイブ2011」に参加しました。「地球のいのちをつなぐ」願いを込めて、子ども達がプランターに絵を描き花の苗を植えました。

発見！まちのグルメ

インド・ネパール料理

西大井駅からガードをくぐり抜け、立会道路沿いに歩いて約3分。平成21年から地元の人に愛されているこのカレー屋さん、広々とした空間で清潔感あふれるお店です。

お店で出される料理は本場ネパールの料理人が作ります。「では、ネパール料理なの？」と思いますが、実はインド、ネパール、パキスタン、バングラデシュの4カ国では、同じ料理を食べるそう。



お得なランチ(11:00～15:00)は、カレー、ナンorライスにサラダも付く上に、ナンやライスはおかわり自由で大満足です。

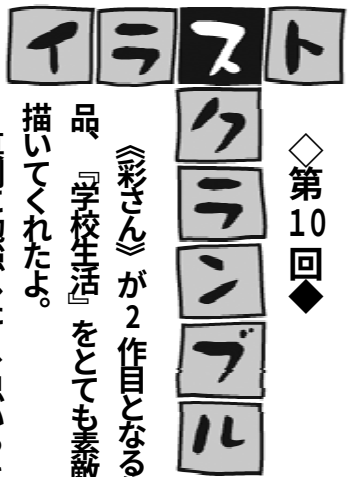
辛さは、甘口、普通、中辛、辛口、激辛からお好みに応じて調整してくれます。カレーの種類も豊富で、自分好みの組み合わせを見つける楽しみがあります。



お子様にお勧めのセットもあり、ファミリーで安心してお食事できます。ちなみに、ネパールでは1歳半位から中辛程度のカレーを食べるそうです。すごいですね。

15:00～23:00までは、更に充実した夜メニューとなります。電話注文、テイクアウトも受け付けています。【西原・佐藤】

10代の♡10代による♣10代のための
投稿コーナー



《彩さん》が2作目となる作品『学校生活』をとても素敵に描いてくれたよ。

真剣に勉強したり、思いっきり身体を動かしたり、とても充実した楽しい学校生活が分かるね！

《彩さん》ありがとう！

あなたもこのコーナーに参加してみない？

イラストのお題は、例えば『学校生活』・『マイブーム』など。A4版の紙に横書きで、一言コメント・名前・学年を記入して応募してね！

【石川 裕】

ご応募、お問い合わせは、大井第二地域センター(3772)2000 まで



学校生活

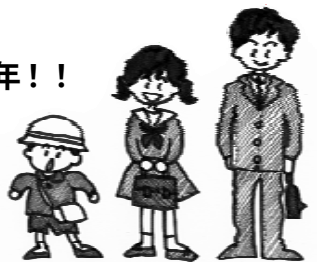
ある一日の学校生活！《彩・12歳》



プレイバック!!
スクランブル

そこで！今回、各学校に漢字の取組みについて伺いました。

昭和63年に創刊号が発刊されてから、地域紙としての歴史は今年でナンと24年！！
当時取り上げた情報は今、変わっている？ 変わっていない？！



山中小学校

5・6年生はステップアップの時間に正しく漢字を書く力や、活用する力を伸ばしています。また毎日、昼学習の時間(15分間)に新出漢字に取り組んでいます。6年1組独自の工夫として、その学期に学習する漢字をクラスの児童で分担し発表しています。分担があたった児童は、①音読み②訓読み③部首名④画数⑤漢字の意味を調べます。発表者は発表した内容の中からクイズを出し、定着を図ります。毎週金曜日に小テストを行い、一週間練習したものを覚えられますようにします。

《6年1組担任・角館先生》

伊藤学園

昨年度から低学団(1年生～4年生)で取り組んでいる、学内独自の漢字検定には、確かな手応えを感じています。そもそも、こうした取り組みは、★子どもが漢字に興味をもち、楽しく、意欲的に学習できているか。★連絡帳や作文に、使える漢字として定着しているか。という問題提起から始まりました。残念ながら、当時の評価はNOでした。しかし、漢字検定という明確な目標ができてから、「〇級になりたい！」という気持ちが励みとなり、それまでひらがなばかりだった子どもの文章に漢字が増えてきました。子どもは生来、新しい知識を使ってみたくと思うもの。教科書などで何度も目に触れて読めるようになった漢字を、無理なく使えるように工夫することは、わたしたち教師の責任だと思っています。

《低学団長・岩淵先生》

大井第一小学校

漢字ステージを基に、朝学習・昼学習を実施しています。定着率を上げるために、各学級の進み具合に合わせ小テストを行っています。しかし、学校だけでは時間が限られてしまうため、家庭での漢字練習が大切になります。これからも学校と家庭と協力して漢字定着率をアップさせていきましょう。

《副校長・辻松先生》

今回は平成23年2月発行の第93号で紹介した「漢字」の話題を取り上げます。

29年ぶりの改訂となった「常用漢字表」が話題となりました。このたび、旧漢字表から5字が外され196字が追加になりました。

最近では漢字離れといわれていますが、パソコンや携帯メールなどの普及で、書くことは少なくても、簡単に変換できるため、難しい漢字を使ったり読んだりする頻度が増えた事もきっかけになったのかなと思います。……

「漢字ステージ」とは、品川教育委員会が発行する品川区独自の漢字教材です。区内の小中学生が漢字の勉強に使っています。

【神尾・山本・石川 裕】